

NPO法人

全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 5-11 JR 駅構内
 桐生市市民活動推進センター
 (Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130 - 2 - 114808
 (E-mail) welcome@japankatarinet.jp
 (HP) http://japankatarinet.jp/

2010. 12. 5 発行

ニュース

「第10回全日本語りの祭り in 新庄」を終えて

新庄市実行委員会 渡部豊子

語りの祭りの前日から、楽しくって忙しくってホイホイ飛び回り、気がついたら壇上で地元スタッフとして最後のマイクを握っていました。そして、「全てが終わってしまった」というさびしさと、「無事になんとかやった」という安堵感の入り混じったものが胸いっぱい溢れ、低い鼻の奥がツーンとなって、目がウルウルとなって・・・。

遠野市で開催された「第9回全日本語りの祭り」に参加し、新庄に帰ってきたとき、「『新庄でも2年後にできなかったら、4年後でもいいから開催したい』と、大島先生に言ってきた。」と、新庄ふるさと歴史センターの田口所長と佐藤民話の会会長に言うと、「お前たち（おめだち）も若（わ）げぐはない、4年後って言ったら何歳（なんぼ）なるや。1年ずつ年齢（とし）とって行くなぞ。本当（ほんて）する気なら4年後なて言てないで2年後にする。ネットワークにそれで推（お）してやれ。精一杯応援してやっから」と、言われました。

あれから2年。10回目の記念すべき年に「全日本語りの祭り」を開催できたのは、何よりネットワーク実行委員の皆さんの温かいご好意とご支援があり、また、新庄市長始め行政（特に「新庄ふるさと歴史センター」職員の皆さん）、市民をあげて応援してくれたことにあります。佐藤会長を先頭に何回も開いた会議、参加者へのプレゼント「ピーナッツ人形」作り、「花笠踊り」の練習も、新庄民話の会会員が一つになった集まりは楽しいものでした。

そして迎えた当日、大勢の皆さんをお迎えした感動と、一堂に会した交流会は、私たち民話の会会員一同、これほどの喜びはありませんでした。「全日本語りの祭り」を開催したことにより多くの仲間が増え、多くのものを学び取らせていただいたことは、大きな財産になりました。参加者の皆さんからは、お礼と労いの言葉をたくさん頂きました。ネットワークの皆さん始め参加者の皆さん、そして応援してくださった全ての人に感謝し、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



ピーナッツ人形

新庄市実行委員会の皆さん作
 ホテルの各部屋で参加者を
 迎えてくれました